

CBC NEWS LETTER

Vol.1, No.1, Oct.2000



小樽商科大学ビジネス創造センター

ニューズレター **[創刊号]**

I N D E X

1. News Letter発刊に寄せて
2. CBCによる道内ベンチャー支援活動を通じて
3. 研究部より
4. CBC登録研究会案内
5. 研究プロジェクト
6. CBC主要日誌
7. 投稿案内

1

News Letter発刊に寄せて



CBCセンター長 教授 松本康一郎

ビジネス創造センター（CBC）が小樽商科大学に設けられ1年以上が経過しました。この間まさに走りながらの組織運営で、関係各位には多大のご支援ご協力を賜りながらも、同時に多大のご迷惑等もかけてきたのではと危惧しています。

とくに反省すべきは、CBCの活動に関する情報開示が必ずしも十分でなかった点です。年次報告としての活動報告書だけでなく、できるだけタイムリーな情報開示の一環として、このたびNews Letterを発刊することとなりました。

このNews Letterでは、それまでの活動報告とともに、直近のお知らせ等も掲載することになっています。なお、CBCには総務部・研究部・情報資料部の組織があり、News Letterの編集には、情報資料部がその任に当たります。

今後さらに充実した紙面づくりに努めたいと考えていますので、各位におかれましては、忌憚のないご意見等を賜りますれば幸いに存じます。なにとぞ、よろしくお願い申し上げます。

2

CBCによる道内ベンチャー支援活動を通じて

CBC副センター長 助教授 瀬戸 篤(PhD)



CBCオープンから1年間で150件をこえる相談・問い合わせが寄せられた。それらの大半は、現存の中小企業のマーケティング・資金等に関する戦略構築に関するものが多かったが、中には新規創業を目指すものもあった。

そこでわかってきたことは、多くのベンチャー企業は、開発ができて売り込み、すなわち(a)マーケティング面が弱いこと、及び(b)人材面で、優れた人材との出会いが偶然に支配されていること、であった。そこで、CBCのコーディネート活動における主力は、<マーケティング>と<人材>面に焦点を絞った支援活動を行っている。

たとえば、人材面で、現社長が技術系であれば事務系の、社長が事務系であれば技術系のパートナー作りは、これからのベンチャー企業発展に欠かせない戦略要素である。こうした可能性のある

人の紹介は、労働力流動化促進という視点からも重要なコーディネータの任務であろう。さらに、日本の現実ビジネスでは、官需要を含め、新たな取引に際しては必ず過去の取引実績が求められる。だが、そもそも実績がない新規参入企業であるベンチャー企業に対して実績を求めることは、マーケットにおける非関税障壁を作ることと同義である。そこで、新たなマーケティング先の発見と、そこへのアクセスを紹介や出会いの場設定を通じて支援することが、ベンチャー企業支援上きわめて有効である。

こうした、企業家もしくは起業予定者との目線を同じくする日常的な支援活動が、国立大学の存在理由を高めると同時に、国内唯一の国立商科系単科大学としてのアイデンティティを確立することにつながればとの思いで、学部大学院における教育と兼務で日々のコーディネート活動を行っている。

CBC2年目にあたる平成12年度のコーディネート活動では、以下の3点を重視して遂行中である。

(イ) 道内ベンチャー企業の積極的な海外進出や、対日進出を考える海外ベンチャー企業と国内(道内)ベンチャー企業のジョイントをコーディネートする。

(ロ) 道内の国立理工系大学で生まれる技術成果を活用するタイプのベンチャー企業の創業と発展を強力に支援する。

(ハ) 小樽商大と日本政策投資銀行との共同研究で構想された道内ベンチャー戦略の一つである、北海道への<Uターン&ベンチャー>を速やかに実行段階に移す。

3

研究部より

第2回ビジネス・アイデア・コンテスト結果報告

第2回ビジネス・アイデア・コンテスト(主催:小樽商科大学ビジネス・アイデア・コンテスト実行委員会、後援:小樽商科大学ビジネス創造センター他)が7月18日(火)14:30より本学160番教室において開催されました。約400件の応募の中から書類審査を通過した10件がコンテスト本選に参加しました。審査の結果、各賞が以下のように決定しました。

- 最優秀賞 梅田 聡子 「クリスマス民家ライトアップ計画」
- 優秀賞 加藤 万理 「カラップ~安心できる食生活を~」
- 西亦 令佳 「文タツ君~挨拶代筆サービス~」
- ふれあい賞 北側 慎一郎 「高齢者と若者(学生)との相互学習・相互支援事業」
- 夢グルメ賞 山口 響子 「料理で世界を結ぼう」
- アイデア賞 山本 耕平 「パチンコ店と商店街との提携」

4

CBC登録研究会案内（平成12年8月～11月開催予定）

会計研究会

1. 開催日時・場所・講演者（開催場所はいずれも、小樽商科大学）
 - 9月30日(土) 講演者：長井敏行氏（北海道情報大学 教授）
石坂信一郎氏（専修大学北海道短期大学 助教授）
 - 10月28日(土) 講演者：大沼宏教官（小樽商科大学 助教授）
今村 聡氏（北海学園大学 助教授）
 - 11月11日(土) 講演者：片山郁夫氏（函館大学 助教授）
山本眞樹夫教官（小樽商科大学 教授）
2. テーマ
「アメリカにおける政府及び非営利企業の会計制度と構造について」
3. 参加条件
研究会メンバーのみ

北東アジア-サハリン研究会

1. 開催日時・場所・講師（開催場所はいずれも、小樽商科大学）
 - ① 9月28日(木) 午後6時～8時 講師：小田福男教官（小樽商科大学 教授）
 - ② 10月26日(木) 午後6時～8時 講師：小柳 貢氏（(株)エコニクス）
2. テーマ
 - ① 「2000年サハリン調査中間報告：戸建住宅について」
 - ② 「サハリンと北海道の交流の状況及びサハリンプロジェクトの動向」
3. 参加条件
基本的には研究会メンバー。ただし、参加を希望される方は下記研究会事務局まで御連絡ください。
連絡先 北東アジア・サハリン研究会事務局 sekitomo@res.otaru-uc.ac.jp
4. 参加費用
無料

5

研究会プロジェクト

後志地区産業基盤創造研究会

平成12年1月14日（金）に本学において開催されました第5回地域懇談会での提言を受けて、後志管内20市町村と後志支庁、小樽商科大学を構成員とする「後志地区産業基盤創造研究会」が発足しました。研究会は、4月19日（水）と7月19日（水）にそれぞれ第1回研究会、第2回研究会を開催しています。第3回研究会は10月25日に後志支庁において開催されました。



CBC主要日誌

CBC運営委員会	主任会議
4月12日（火）議題：1 CBC省令施設化に伴う専任教授の考え方について 2 その他	4月 5日 4月 14日
4月20日（木）議題：1 客員研究員取扱要項の制定について 学外協力スタッフ取扱要項の制定について 資料室利用要項の制定について 2 平成13年度歳出概算要求について 3 平成12年度学内配分予算要求について 4 その他	
5月31日（水）議題：1 学外協力スタッフの推薦について 2 ホームページの改定について 3 その他 報告事項：1 CBC活動報告書について 2 ニュース・レターの発行について 3 その他	5月 9日 5月18日
6月28日（水）議題：1 CBC専任教授任用に伴う「任期制」導入の必要性について 2 平成12年度ビジネス創造センター運営費について 3 その他	6月15日
7月13日（木）議題：1 CBC専任教授任用について 2 その他	7月13日 7月26日

投稿案内

ニュースレターはCBCに関する情報をタイムリーに開示するだけでなく、CBC関係者相互の情報交換の場でもあります。CBC関係各位の積極的な投稿をお待ちしています。

投稿、問い合わせはEメールにてお願いします。投稿は随時受け付けておりますが、投稿原稿の採否、掲載号の決定はCBC情報資料部に御一任ください。

○ 投稿先 小樽商科大学ビジネス創造センター情報資料部

Eメール：okuda@res.otaru-uc.ac.jp,

編集後記

このたび小樽商科大学ビジネス創造センターのニュースレターVol.1, No.1を発行することができました。これも関係各機関・各位のご協力の賜であります。発行が当初予定していた時期よりも大幅に遅れましたことは、編集者に責任があります。より充実したニュースレターにするために今後ともみなさまのご協力を賜りますようお願いいたします。

(情報資料部)

小樽商科大学ビジネス創造センター（CBC）
〒047-8501 小樽市緑3丁目5番21号
事務室 TEL 0134-27-5290
FAX 0134-27-5293
メールアドレス cbc@office.otaru-uc.ac.jp
ホームページ <http://www.otaru-uc.ac.jp/cbc/>